

各参加チーム代表者様、各リーグ運営担当者様へ

高円宮杯 JFA U15 サッカーリーグ 2023 新潟県の感染症対策においては、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン(第13版)」、「新型コロナウイルスの影響による JFA 国内競技会開催可否の判断基準について(2023/3/1版)」、「新型コロナウイルス感染症対応 NiFA サッカー活動ガイドラン」を参考にして選手指導、運営等を行ってください。

【1 チームに関すること】

- ・各チームに①チーム感染症対策責任者を置く。
- ・試合毎に「参加者一覧表(※1)」を②会場感染症対策責任者(会場担当等)に提出する。

(※1) チームの健康状態について確認するツールで、参加基準ではありません。

参加者一覧表

高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ2022新潟県 参加者一覧表		高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ2022新潟県 参加者一覧表 No1	
(一社)新潟県サッカー協会 3種委員会 リーグ実行委員会		令和4年 月 日	
期 日	令和 4 年 月 日 曜日	---	日
会 場		参加者氏名	参加者氏名
チーム名		1	17
代表者名		2	18
(感染対策責任者名)		3	19
連絡先		4	20
		5	21
		6	22
		7	23
		8	24
		9	25
		10	26
		11	27
		12	28
		13	29
		14	30
		15	31
		16	32

チェック項目		チェック欄
①	発熱・咳・咽頭痛などの症状、鼻や目元に異常がない。	
②	感染者と濃厚接触がなく、保健所の指示も受けていない。	
③	同居家族に発熱や咳等の症状がなく、感染していない。	
④	過去7日以内に濃厚や入居期間等がされている国、地域等への渡航又は当該責任者との濃厚接触がない。	

参加者全員を確認の上、試合前に運営責任者もしくは会場担当に提出する。
各リーグ運営責任者は、一覧表を試合ごとに回収し、1か月間保管する。

- ・参加者一人一人の「健康チェックシート」は②に提出する必要はないが、各チームの体調管理として使用し、①が管理することが望ましい。

【2 運営に関すること】

- ・各試合会場に②会場感染症対策責任者を置く。
(実際はその試合会場の会場担当や運営担当の方が兼務することになります)
- ・②は①が提出した「参加者一覧表」をリーグ終了まで保管する(11月)。
(緊急事態が生じた場合には提出が求められます)
- ・新潟県サッカー協会の感染症ガイドラン「新型コロナウイルス感染症対応 NiFA サッカー活動ガイドラン」の5-2. 事業・活動の実施時の感染防止策を確認する。

5-2. 事業・活動の実施時の感染防止策 運営サイト・感染対策責任者

主管者・運営サイト(感染対策責任者)

感染対策責任者の役割

- 感染予防の実施会場となる施設の感染予防対策をふまえた競技会・事業ごとの感染対策の実施
- 参加選手、スタッフ、大会役員等の健康管理(健康チェックリストの提出・保管)
- 3つの症状をつくらない(罹患)の対応と実施できる状況をつくる
- 更衣室/ロッカールーム等、座席を設置する場合は、前後左右1.5~2m間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する
- 手指消毒/手洗いができる物品、環境の整備(手洗い場所、トイレの整備)
- ふき取り消毒ができる用品の用意
- 喫煙を控えない
- 感染対策の呼びかけ、意識喚起の工夫(掲示物、張り紙、アナウンス、役員によるよびかけ)
- 観戦者がある場合は観戦者を適切な行動に導く
- ゴミの処理(ビニール袋に入れて持ち、廃棄)
- ドリンクなどを冷やすためのアイスボックス、イベントクーラーは使用しない。
- 飲食売店の運営は、安全対策に十分に配慮した上で判断する。
- トランプを使用の場合は、手を入れる担当者を決め、専任担当者による受け渡しとする。なお金銭の授受は、担当させない
- 参加者ごとの体温測定
- 十分な距離の確保
- 位置取り(前後一直線ではなく並走する)
- ③増やせることは、極力控える
- ④タオルの共有はしない
- ⑤ドリンクの回収はしない(グラブなどに捨てない)

事前

- 以上の事項に該当する場合は自主的な参加の見合わせ(大会、イベント等当日に審判にて確認)
- 体調が良くない場合(例:発熱、咽頭痛などの症状がある)
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 過去14日以内に海外から入国帰国、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加者全員のマスク着用
- 新潟県サッカー協会が示す注意事項の遵守
- スポーツ(大会)終了後に発生した感染病を発生した場合は速やかな報告
- イベント、大会中の他人との接触状況の記録(2023/3/10版で付録G5(別紙)を、その時にマスク着用していたかなど)

メディアへの連携(事前伝達)

- 取材申請を事前に締め切る
- 会場に合わせた3密を避けるための取材者の人数調整
- 事前対応事項、取材時のソーシャルディスタンスの周知徹底を図る
- 健康チェックシートを事前に配布し、当日に提出してもらう

5-2. 事業・活動の実施時の感染防止策 運営サイト・感染対策責任者

主管者・運営サイト(感染対策責任者)

感染予防の実施会場となる施設の感染予防対策をふまえた競技会・事業ごとの感染対策の実施

会場

- 参加選手、スタッフ、大会役員等の健康管理(健康チェックリストの提出・保管)
- 3つの症状をつくらない(罹患)の対応と実施できる状況をつくる
- 更衣室/ロッカールーム等、座席を設置する場合は、前後左右1.5~2m間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する
- 手指消毒/手洗いができる物品、環境の整備(手洗い場所、トイレの整備)
- ふき取り消毒ができる用品の用意
- 喫煙を控えない
- 感染対策の呼びかけ、意識喚起の工夫(掲示物、張り紙、アナウンス、役員によるよびかけ)
- 観戦者がある場合は観戦者を適切な行動に導く
- ゴミの処理(ビニール袋に入れて持ち、廃棄)
- ドリンクなどを冷やすためのアイスボックス、イベントクーラーは使用しない。
- 飲食売店の運営は、安全対策に十分に配慮した上で判断する。
- トランプを使用の場合は、手を入れる担当者を決め、専任担当者による受け渡しとする。なお金銭の授受は、担当させない
- 参加者ごとの体温測定
- 十分な距離の確保
- 位置取り(前後一直線ではなく並走する)
- ③増やせることは、極力控える
- ④タオルの共有はしない
- ⑤ドリンクの回収はしない(グラブなどに捨てない)

事後

- 万一が感染者もしくは濃厚接触者が終了3日以内に確認された場合の対応の確認
- 一般社団法人新潟県サッカー協会 感染対策責任者へ連絡
- 健康チェックリスト(チーム参加者 選手名簿 スタッフ名簿)の保管
- 役員やスタッフの健康状態の把握 ※個人情報取り扱いに十分注意

【3 リーグ参加基準（制限）】

* マネージャーなど選手と接する機会のある者を含む

想定される状況	対象	リーグ参加制限
感染した場合	選手・指導者*	参加自粛する。 【有症状】 発症日から7日間が経過し、かつ症状軽快（解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が改善傾向）後24時間経過していれば、出場、参加が認められる。 ※1 【無症状】 5日目に抗原検査により陰性が確認できれば6日目から参加可能とする
	チーム	集団感染がなければ参加は認められる。
発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合	選手・指導者*	症状消失まで参加自粛が望ましい（「感染の疑いやおそれがない」との診断を受けた場合を除く）。
	チーム	制限なし
濃厚接触者に特定された場合 ※2	選手・指導者*	待機期間は参加を控える ※2
	チーム	制限なし
選手が所属する学校が休校、学年閉鎖、学級閉鎖の場合	選手(指導者*)	参加自粛が望ましい ※4
	チーム	制限なし

※1 「発症日から7日間経過し」とは、発症日を0日として7日間のことを言います。

※2 待機期間は基本5日間ですが、2日目及び3日目に抗原定性検査キット（薬事承認されたものに限る）を用いた検査により陰性を確認した場合は、3日目に解除が可能です。

※3 同居家族が濃厚接触に特定された場合、保健所指示の検査又は医療機関での検査を受ける場合の状況でも、選手本人はリーグ戦に参加しても差し支えない。

※4 個々やチームの判断で参加することは差し支えない。

【4 連絡体制に関すること】

新型コロナウイルス感染症により、様々な状況が予想されるため下記の連絡体制を確立します。

状況が発生したら

- ・①チーム感染症対策責任者から、
 - （試合当日の場合）②各会場感染対策責任者へ報告する。（各会場の管理責任者と協議）
 - （～試合前日までの場合）各リーグの運営責任者に報告する。
- ・②各会場感染対策責任者→各運営責任者→U15県リーグ感染対策責任者（リーグ実施委員長）
 - FA感染対策責任者（3種委員長）
- ・③協議後
 - 各チーム感染対策責任者へ今後の対応について連絡

【5 その他】

- ・令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されることに伴い、同日以降の取扱いについては後日、リーグ運営担当者を通じて、各チームに連絡します。
- ・連絡がない場合等は、各自治体の情報を最優先した判断をお願いいたします。